

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(3)-イ	クリーンエネルギーの推進	施策	① クリーンエネルギーの普及促進等
			施策の小項目名	〇省エネ化に向けた取組
主な取組	地中熱エネルギー等を活用した省エネ技術の開発普及事業			
対応する主な課題	②クリーンエネルギーの多くは、安定供給に向けての課題が多いことや導入コストが高いことから、実証事業等をとおして安定的な需給システムの構築や普及に向けた取組を促進する必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
全国では広く普及しているものの県内で普及していない未利用エネルギーである地中熱を活用した省エネを普及するため、最新の動向や知見を収集するとともに、認知度向上に向け、民間事業者や地中熱利用事業組合等の主体的な取組と連携する。		実証試験数 1件	→			
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	環境部環境再生課	【098-866-2064】		地中熱利用の実証試験	地中熱等熱エネルギー利用の普及促進	

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)			
予算事業名	地中熱エネルギー等を活用した省エネ技術の開発・普及事業						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
一括交付金(ソフト)	委託	—	31,070	25,467	15,567	—	—		OR元年度：平成30年度で事業終了。最新の動向や知見を収集し、民間事業者や地中熱利用事業組合等の主体的な取組と連携して、普及啓発に努めた。 OR2年度：民間事業者や地中熱利用事業組合等の主体的な取組と連携して、普及啓発に努める。	
予算事業名	—						R2年度		令和元年度活動内容と令和2年度活動計画	
主な財源	実施方法	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算見込額	当初予算額	主な財源		
		—	—	—	—	—			OR元年度：— OR2年度：—	

様式1(主な取組)

活動指標名	実証試験数(地中熱利用の実証試験)				R元年度			R元年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
実績値	—	—	1件	1件	—	—		0	未着手	—		
活動指標名					R元年度					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度								
活動指標名					R元年度					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B
実績値	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度								
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和元年度の取組改善案						反映状況						
<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度より、省エネ設備等の導入を図るために、事業者等に対して省エネ設備等の導入費用を補助する事業を推進していく予定である。 地中熱利用システムに関する最新の動向や知見を収集するとともに、認知度向上のため、民間事業者や地中熱利用事業組合等の主体的な取り組みと連携する必要がある。 						<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度より、観光関連施設等における省エネ設備等の導入費用を補助する事業を開始した。(おきなわ型省エネ設備等普及事業) 地中熱利用システムに関する最新の動向や知見を収集するとともに、民間事業者や地中熱利用事業組合等の主体的な取組と連携して普及啓発に努めた。 						



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

- ・平成30年度で事業終了。
- ・地中熱の認知度が十分ではない、地中熱利用システムの設置コストが高い等の課題がある。

○外部環境の変化

- ・NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)では、投資回収年数の低減に係る技術開発等が進められている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・これまでの取組を踏まえて地中熱に係る認知度を高め、地球温暖化対策を推進する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- ・実証試験で使用した機器を活用し、民間事業者等と連携して省エネ効果の確認や広報等を行うことで、地中熱システムの普及啓発に努める。